

## 熊本学園大学水俣学研究センター

### 2014(平成26)年度 第3回 水俣学若手研究セミナーのお知らせ

水俣学研究センターでは、水俣学の試みとその成果について議論し、また本研究機関を積極的に活用していただくため、「水俣学若手研究セミナー」を開催します。つきましては、全国の大学関係者、大学院生およびPD、在野の研究者を対象に下記の要領で受講者を募集します。

本年度のセミナーでは、「水俣病の現在と水俣学の試み」をテーマに、本学教員・ゲスト講師・研究員による発表セミナーに続いて、現地フィールドワーク、受講者による討論を行ないます。

また、資料や設備などの水俣学研究センターの紹介、図書室や展示などの施設案内も合わせて実施します。ご応募をお待ちしています。

#### 開催要項

##### 1. 開催期間

2014年9月5日（金）～7日（日）の3日間

##### 2. 開催場所

熊本学園大学水俣学現地研究センター（熊本県水俣市浜町2-7-13）

##### 3. テーマ 「水俣病の現在と水俣学の試み」

水俣病の発生が公式に確認されてから58年。その間の歴史の堆積の上に現在の水俣病をめぐる様々な制度や政策がめまぐるしく移り変わり、水俣病の被害者はその中を生きてきました。

全国の大学では、環境問題に関する講義がおかれ、その中で必ずといっていいほど水俣病が取り上げられています。しかし、その一方、現在の水俣病をめぐる状況は分かりにくいとの声も聞かれます。

水俣学研究センターは、地域に根ざし現地に学び、水俣病という負の経験を将来に生かすことを目指して、設立され、調査研究・教育に取り組んできました。今回のセミナーでは、私たちのそうした取り組みをベースに、次の世代を担う若手研究者に「水俣病事件の現在」を共有し、共に学ぶことを目的に開催します。

なお、水俣学のモットーである現地に学ぶことを大切にし、座学ばかりではなく現地でのフィールドワークを大切にします。

水俣病を直接研究テーマにするだけでなく、人類の負の遺産としての水俣病を学び、自分自身の研究活動に活かすことを目指す参加者を募集します。

#### 4. セミナーの内容

(1) 水俣学研究センターの紹介と案内

(2) 水俣病事件に取り組んできた研究者及び地元の方々によるセミナー

花田昌宣 熊本学園大学水俣学研究センター長

「水俣病被害の現実とそれへのアプローチ：水俣学研究の到達点と初発の意志」

宮北隆志 熊本学園大学水俣学現地研究センター長

「社会的困難に立ち向かう地域再構築と水俣学」

中地重晴 熊本学園大学水俣学研究センター事務局長

「水俣湾埋め立て事業の40年～水銀条約と今後の課題～」

特別講師

船橋晴俊 法政大学教授

「福島原発事故の現状と水俣病（仮）」

(3) フィールドワークとその特徴

**水俣病患者団体・個人等のインタビューから、水俣病半世紀の現在を理解する。**

水俣病患者団体・個人等の居住地域を訪問して、インタビューを実施することを計画しています。水俣学研究センター研究員とともに少人数で訪問しインタビューを行い記録に残すことを計画しています。参加者と人数が確定してからインタビュー先を決定します。

また、セミナーでの座学をふまえて、普通の水俣研修ではなかなか訪問できないところを、研究員とともに回ります。

#### 5. 応募資格

- (1) 大学院生あるいはPD、または相当する研究歴を有し、積極的に参加する意思を持つ者。
- (2) 大学などにポストを有する研究者で水俣病に関心を有する者。
- (3) 学部生の場合、卒業研究で水俣病等を課題としている者は指導教員の推薦を得ること。
- (4) 上記に該当しない場合は、ご相談ください。なお、「若手」とは年齢によるものとは考えておりません。
- (5) セミナー全日程参加できる者（オプションを除く）

#### 6. 募集人数 15名

7. 受講料無料（現地移動、フィールドワークにかかる費用は主催者が負担します。  
水俣までの旅費交通費、滞在期間中の宿泊費、食事代はご負担ください。）

#### 8. 応募方法

- ① 略歴書（所定の書式を使用、メールアドレスを明記のこと）
- ② 自分の研究テーマ（1200字程度の研究内容を記載、様式自由）

9. 応募締切 2014年7月31日〔木曜日〕

（14に記載しているメールまたは、郵送にて御申し込みください。）

#### 10. 受講者の決定

応募書類にもとづき、申し込み多数の場合には、水俣学研究センターにおいて選考の上、8月中旬に通知いたします。

#### 11. スケジュール（予定）

9月5日（金）

- 10：00～12：00 オプション \*事前の申し込みが必要です。  
水俣がはじめての人向けの水俣現地案内（資料館、主要地区視察）
- 13：00～13：50 開会式および趣旨説明、参加者自己紹介
- 14：00～15：45 セミナー ①「水俣病被害の現実とそれへのアプローチ：水俣学研究の到達点と初発の意志」花田昌宣
- 16：00～17：45 セミナー ②「社会的困難に立ち向かう地域再構築と水俣学」  
宮北隆志
- 18：00～19：00 フィールドワークの準備ならびに受講者による発表と討論
- 19：30～21：30 夕食兼懇親会（水俣市内：実費）

9月6日（土）

- 9：00～12：00 フィールドワーク
- 12：00～14：00 昼食とフィールドワークまとめ
- 14：00～15：00 グループ発表と討論
- 15：15～17：00 特別講演  
「福島原発事故の現状と水俣病（仮）」 船橋晴俊
- 17：30 宿泊地 湯の鶴温泉 喜久屋旅館へ移動（喜久屋バス）  
\*喜久屋旅館の宿泊予約は、当センターが行います
- 19:00 夕食・懇親会

9月7日（日）

- 8：30 現地研究センターへ移動

- 9：00～10：15 セミナー③「水俣湾埋め立て事業の40年～水銀条約と今後の課題」  
中地重晴
- 10：30～12：00 まとめのグループ討論
- 12：00～ 昼食と休憩（各自）
- 13：00～15：00 グループからの報告と総合討論
- 15：00 閉会式 全日程終了

## 12. 参考文献（事前学習）

参加者は、事前に学習して参加することが望ましい

- 1) 水俣学ブックレットNo.3『ガイドブック：水俣を歩き、ミナマタに学ぶ』、No.9『水俣からのレイトレッシン』（熊本日日新聞社）
- 2) 『水俣学講義』（日本評論社）、『水俣学研究序説』（藤原書店）  
『水俣学研究』（水俣学研究センター紀要）所収論文
- 3) 水俣学研究センターホームページ

『水俣学研究』は、水俣学研究センターホームページにある「出版物」バナーのなかに「水俣学研究」をクリックしていただくと、PDFでご覧いただけます。また、当センターが刊行している書籍のご案内もしております。

## 13. その他

- ① セミナー開催期間中の宿泊場所は、ご案内いたしますが、各受講者が手配してください。  
**\*9/6 宿泊に関しては当センターにて予約いたします。(1泊2食付き6500円)**
- ② フィールドワークでの現地移動は、マイクロバス、水俣学研究センターのワゴン車などを使います。
- ③ プログラムの順序、フィールドワークの都合や受講者の人数等に応じて変更の可能性があります。また、地域の行事があるときは参加を検討します。
- ④ 応募書類は返却しません。なお、個人情報に関しては本セミナー以外の目的には使用しません。

## 14. 応募／問合せ先

熊本学園大学水俣学研究センター 宛

〒862-8680 熊本市中央区大江2-5-1

minamata@kumagaku.ac.jp

Tel：096-364-8913（ダイヤルイン） Fax：096-364-5320

